

# 1年次セミナープロジェクト

課題：幼稚園または小学校低学年を対象にした遊具／おもちゃの作成

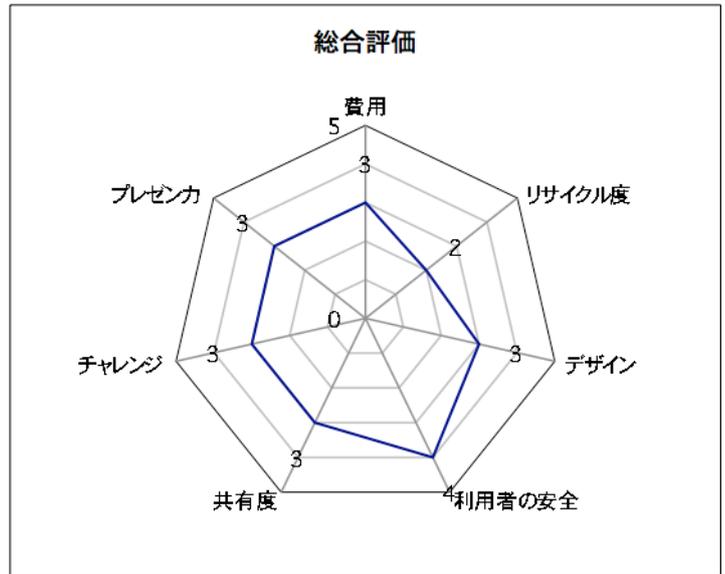
プロジェクト名：これだあれ？（さわる絵本）

作品サイズ：24×24×7(cm)

対象年齢：3歳～5歳（幼稚園生）

## 総合評価

- 費用
- リサイクル度
- デザイン
- チャレンジ（計画と準備の緻密さ）
- 利用者の安全
- 共有度
- プレゼン力（各クラスでのプレゼン）



## スケジュール概要

日付	担当責任者 (各作業の責任者)	スケジュール
	リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>各メンバーは、〇日までにチーム作業に必要な行程をリーダーに提出する。</li> <li>今後の連絡先などの交換。</li> <li>どんなプロジェクトにしたいか、各自でブレインストーミングし、アイデアを出しまくる。</li> </ul>
10/30	全員	102内にどんな作品にするか、対象年齢を決めた。
11/5	杉山、今井	大きな絵本に決定。どんな仕掛けにするか検討。
11/16	全員	材料の調達・買い出し。
11/17	多田	作業。ページ作り。
11/23	杉山、渡邊	作業。絵本の仕上げ、プレゼンについての打ち合わせ。
11/25	全員	最終作業。絵本の完成。27日の中間発表に向けての打ち合わせ。

## 1. 費用

計画：必要な資材の予測

項目	予想金額 or リサイクル	予想調達先
ダンボール	リサイクル	持参(杉山)
フェルト	100円×2	100円ショップ
画用紙	100円	100円ショップ
牛乳パック	リサイクル	持参(杉山)
マジックテープ	100円	100円ショップ
ホログラム	10cm 100円	東急ハンズ
布	100円	100円ショップ
綿	リサイクル	持参(あれば)

調査：調達先別の資材比較

項目	実際価格 or リサイクル	調達先
ホログラム	10cm 42円	東急ハンズ
ダンボール	リサイクル	杉山、持参
フェルト	100円×2	100円ショップ
画用紙セット	100円×2	100円ショップ
ビニールテープ	100円	100円ショップ
両面テープ	100円×2	100円ショップ

実行：最終資材

新規購入品

項目	実際価格 or リサイクル	調達先
フェルト	100円×2	100円ショップ
たわし	100円	100円ショップ
壁シート	100円	100円ショップ
綿	100円	100円ショップ
ビニールテープ	100円	100円ショップ
両面テープ	100円×2	100円ショップ
プラコップ	100円	100円ショップ
ファイル	100円	100円ショップ
画用紙	100円×2	100円ショップ
布	100円	100円ショップ
貼れるフェルト	100円	100円ショップ
ホログラム	84円(20cm)	東急ハンズ
合計	1554円	

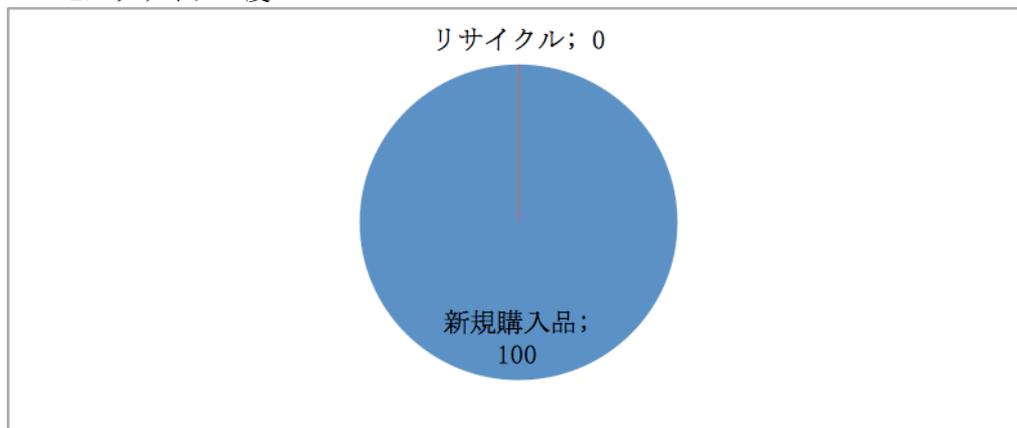
リサイクル品

ダンボール	リサイクル	杉山が持参
牛乳パック	リサイクル	杉山が持参
果物ネット	リサイクル	杉山が持参
合計	0円	

新規購入費用： 1554 円

全て新規購入した時の総費用 1554 円

## 2. リサイクル度



## デザイン

資料（文献、インターネット情報、専門家からの伝授）など、最終デザインに行き着くまでのデザインの変容と修正理由などを残しておく）

日付	変更前デザイン	改善後のデザイン
11/15	ページを画用紙で作る	子どもの安全とリサイクルを考えてダンボールを使用した。
11/17	ハリネズミをたわしで作る	たわしがページに収まらないことから、動物をイラストに変更。
11/25	ページ同士を両面テープで張り合わせる	両面テープだけでは強度の面も安全の面も不十分だったため、ビニールテープでページの周りを貼り、より安全に且つより強度を増した
'10 1/12	表紙の文字(黒いフェルト)	あまりにもかわいらしさに欠けるため、貼るフェルトでカラフルに。少しでも興味がわくように、裏にはたくさんの「？」が散りばめてある。

## 3. チャレンジ

改善点：

日付	改善前（どこに、どんな改善が必要か）	改善後（どう改善したか）
11/12	絵本の表紙	暗い色の為明るい色を使用した 字を大きくしたりしてより子どもの目に入るものにした
11/17	色使い 動物の特徴	全体的に明るい色を使用し、目で楽しめるようにした。 動物の特徴である色や手触りなどをつかみ子どもたちでもわかるようにした
11/27	ダンボールなど作品の強化	絵本の端をビニールテープで使用する事によって安全性を高めると同時に作品の強化になった
1/12	読みやすい字の徹底	幼稚園生の子どもたちは字を覚えてたてなので字を大きく書いたり、一文字一文字丁寧に書いた所

#### 4. チームワーク：

チームプロジェクトから学んだこと	チームプロジェクトで苦労したこと
一致団結しみんなでやる協力性や作品を仕上げるとい目標に向かって努力した事	みんなで知恵や意見を出し合い作品をより良い物にしようとしたが、考え方の違いがありなかなか一つにまとまらなかった事
男女の考え方があり、さまざまな視点や形など作品がより良い物になった事	男子から見る視点と女子から見る視点があり仕上げに時間がかかった事
役割を分担する事によって、一人ひとりの力の大きさや作品に対する意識が芽生えた事	なかなか用事や授業があり日程や時間が合わなかったりして、都合を合わせるのがとても苦労した事

#### 5. 利用者の安全

安全管理：予測可能なリスクを列挙し、そのためにどのような対策を練っているか書く。

想定できるリスク	リスク回避の方法	具体的に用意するもの（安全マニュアルなど）
呑み込み	貼るものならはがれないようにすること 大きく使い呑み込まないサイズにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>強力接着力両面テープでしっかり貼りつける</li> <li>幼児の口のサイズ(トイレットペーパーの心の直径)以上の大きさにパーツを作る</li> </ul>
本の破壊	貼りつけの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのページで触る仕掛けがあるが、それぞれの仕掛けを取れにくくする</li> <li>手芸用ボンドや強力なテープで貼る</li> </ul>
紙で手を切る	各ページに保護テープを貼る	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンボールがむき出しだと手を切る恐れがある為、ビニールテープで手を切らないように保護した</li> </ul>
本の角が少し硬いため、ぶつけると痛い	本は大切に扱うものだと、子どもに言い聞かせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>裏表紙に「ほんはたいせつにつかってね」と注意書き、本の扱い方を学ばせる</li> </ul>

#### 6. 共有度

(どのような遊び展開が可能か？何人一人人までが利用できるか？どのような遊びを提案できるか？)

- 絵本なので読み聞かせる物であって人数は多くても可。しかし、読み聞かせるだけなら人数は多くてもいいが、触るとなると人数は限られてくる。人数は5~7人ぐらいがいいと思われる。
- 読める子供が読めない子供に読み聞かせることができる。

#### プレゼン力

報告計画：クラスでの報告、または担任への個別報告した内容と担任からの指導内容など

日時	報告担当者 (1人1回は報告)	報告内容(進行状況、課題、課題解決の方法案、今後の予定など)	担任からのアドバイスなど
11/27	杉山 遥	絵本の中に出てくる動物	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人でもわからない問題があるのもう一度動物を見直した方が良い。</li> <li>答えを固定するのではなく触ることを楽しませ子どもたちに考えさせる絵本でもいいのではないか</li> </ul>
12/18	多田 弥斗	文字	<ul style="list-style-type: none"> <li>大谷先生の子どもの字を見せてもらい文字の書き方や丁寧さを今一度見なおす必要がある</li> </ul>

反省：

- 計画的に集まらなかったために、作品の完成も遅かったしあまり納得のいかない妥協したものになってしまった
- 家にあると思っていたガムテープや両面テープなどのテープ類や画用紙が思いのほか見つからず、新規購入品となってしまい、予想以上の予算オーバーとなってしまった
- グループプロジェクトなのに、ひとりひとりが時間を割けずにずるずると来てしまったため、あまり集まったの活動ができなかった
- 個人での分担がきちんとしていなかったため、分担する量に差が出てしまった